

平成 22 年度教室業績医学部眼科学教室

I 口演

Inoue M Intraoperative view with multifocal IOL. 1st The 1st Joint conference, Tokyo Dental College Suidobashi Hospital and Inje University Ilsan Paik Hospital, Seoul, Apr 2, 2010.

伊東真知子, 平形明人, 平岡智之, 井上真, 勝田秀紀¹, 石田均¹ (¹杏林大, 糖尿病内科): 増殖糖尿病網膜症の手術成績に置ける術前治療歴の影響. 第 1 回東京多摩眼科連携セミナー, 三鷹, 平成 22 年 4 月 3 日.

岡田アナベルあやめ: 眼炎症疾患: 最近のトピックより. 静岡県眼科医会総会, 静岡, 平成 22 年 4 月 10 日.

永本敏之: 先天・発達白内障を診たら (教育セミナー). 第 114 回日本眼科学会総会サブスペシャリティサンデー「白内障診療の落とし穴」. 第 114 回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成 22 年 4 月 15 日-18 日.

山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 杉谷篤彦, 國田大輔, 谷内修太郎: 滲出型加齢黄斑変性に対する ranibizumab 硝子体内投与の短期経過. 第 114 回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成 22 年 4 月 15-18 日.

慶野博, Levinson R¹, Rajalingam R², 岡田アナベルあやめ (¹ Jules Stein Eye Institute, Los Angeles, CA, ²Department of Pathology and Laboratory Medicine, David Geffen School of Medicine at UCLA, Los Angeles, CA): Vogt-小柳-原田病とKIR遺伝子多型. 第 114 回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成 22 年 4 月 15-18 日.

佐藤康彦, 慶野博, 梅沢一夫¹, 岡田アナベルあやめ (¹ 慶応大): 培養ヒト網膜色素上皮細胞に対するDHMEQの抗炎症効果. 第 114 回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成 22 年 4 月 15-18 日.

渡邊交世, 慶野博, 中島史絵, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: 結核性眼疾患の診断におけるQuantiferon®TB-2Gの有用性の評価. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成22年4月15-18日.

慶野博: Therapeutic effect of Therapeutic effect of potent IL-12/IL-23 inhibitor, STA-5326 on an experimental autoimmune uveoretinitis, 平成21年度日本眼科学会学術奨励賞受賞講演. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成22年4月15-18日.

慶野博, Ralph Levinson¹, Raja Rajalingam¹, 岡田アナベルあやめ (¹ David Geffen School of Medicine at UCLA, University of California at Los Angeles, Los Angeles, California 90024, USA.): Vogt-小柳-原田病とKIR遺伝子多型. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成22年4月15-18日.

伊東裕二, 国田大輔, 杉谷篤彦, 平岡智之, 井上真, 三木大二郎, 平形明人: 黄斑円孔網膜剥離に対する硝子体手術後の円孔閉鎖について. 第114回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成22年4月15-18日.

渡辺交世: サブスペシャリティーサンデー・白内障診療の落とし穴・白内障の形態と症状-視力に影響する混濁はどれ? 第114回日本眼科学会総会, 名古屋, 平成22年4月15-18日.

Akito Hirakata: An unconventional approach to the treatment of optic disc pit maculopathy. Remembering Robert Machemer Scientific Meeting & Memorial, Dahram, Apr. 30, 2010.

Itoh Y, Kunita D, Sugitani A, Hiraoka T, Inoue M, Miki D, Hirakata A: Evaluation of anatomical hole closure and visual outcomes after pars plana vitrectomy for macular hole retinal detachment. ARVO Annual Meeting, Florida, May. 2-6, 2010.

Yamazoe K, Yamamoto Y, Hotta K: Factors Affecting Visual Outcome in Acanthamoeba Keratitis Treated With Topical Chlorhexidine Gluconate, Annual Meeting of Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), Ft Lauderdale, Florida, May .4, 2010.

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群の画像所見と治療経験から学ぶこと。第7回越後眼科研究会，新潟，平成22年5月15日。

井上真：プレミア IOL 挿入眼での硝子体手術 - トーリックと多焦点眼内レンズ -。第2回 Infinite Power Up Seminar, 札幌, 平成22年5月17日。

井上真：小切開硝子体手術的アプローチ。第11回愛知眼科アカデミー, 名古屋, 平成22年5月27日。

永本敏之：どこまで難症例が安全にできるようになったのか？ - 小瞳孔，硬い核，小児の白内障（シンポジウム「開業医のための白内障アップデート」）。第43回日本眼科講演会，東京，平成22年5月29日。

Okada AA: Sarcoidosis. Asia-Pacific Intraocular Inflammation Study Group Symposium, World Ophthalmology Congress, Berlin, 2010.6.8.

Okada AA: Uveitis Education in Japan. Symposium: Uveitis Education Around the World, World Ophthalmology Congress, Berlin, 2010.6.9.

Inoue M, Sano K, Taniuchi S, Hirakata A. Spectral-domain Optical Coherence Tomography for gas-filled eyes. World Ophthalmology Congress, Berlin, Germany, Jun.5,2010.

Shinoda K, Inoue M, Sugisaka E, Matsumoto S, Mizota A, Furushima M, Miyake Y: How is the object in the vitreous perceived? Arden's symposium Germany, Jun.12,2010.

井上真：「光干渉断層計（OCT）の眼科応用」。湘北耳鼻科医会学術講演会, 厚木, 平成22年6月19日。

Keino H, Watanabe H, Sato Y & Okada AA: Oral administration of retinoic acid receptor- α/β specific ligand, Am80 suppresses experimental autoimmune uveoretinitis Federation of Clinical Immunology Societies (FOCIS), Boston Jun.24-27, 2010.

平形明人：硝子体手術の現況．第 11 回眼科手術開業医の会セミナー，大阪，平成 22 年 6 月 26 日．

永本敏之：JSCRS 学会主導による指導医養成（教育セミナー「白内障手術教育を考える」）．第 49 回日本白内障学会総会・第 25 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会，大阪，平成 22 年 6 月 25-27 日．

永本敏之：調節性 IOL の展望（シンポジウム「屈折矯正のための白内障手術」）．第 49 回日本白内障学会総会・第 25 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会，大阪，平成 22 年 6 月 25-27 日．

永本敏之：細隙灯での水晶体の診方と注意点（教育セミナー「白内障診療のコツ」）．第 49 回日本白内障学会総会・第 25 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会，大阪，平成 22 年 6 月 25-27 日．

渡辺交世，中野敦雄，二宮夕子，永本敏之：アトピー性皮膚炎患者の結膜嚢常在細菌叢と抗菌点眼薬の効果．第 49 回日本白内障学会総会・第 25 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会，大阪，平成 22 年 6 月 25-27 日．

中野敦雄，二宮夕子，渡辺交世，並木泉，永本敏之：トリパンプルー前嚢染色の角膜内皮細胞への影響．第 49 回日本白内障学会総会・第 25 回日本眼内レンズ屈折手術学会総会，大阪，平成 22 年 6 月 25-27 日．

岡田アナベルあやめ：ベーチェット病の予後が変わるレミケード療法．第 4 回九州ベーチェット病フォーラム，福岡，平成 22 年 6 月 26 日．

Yokota R, Hotta K: Postoperative Refractive Error of Secondary Intraocular Lens Implantation Fixed in The Capsule after Simultaneous Vitrectomy and Lensectomy, AUSCRS and APACRS Fusion Cairns 2010, Cairns Australia, July.1-4, 2010.

鈴木由美，山田昌和，井之川宗右，浜由起子，富田香，平形明人：陳旧性外傷性下直筋断裂に下直筋縫合が有効であった 1 例．第 66 回日本弱視斜視学会，東京，平成 22 年 7 月 2 日．

平形明人：網膜上静脈分枝閉塞症の話題．第4回樋田メモリアル網膜ラウンジ，東京，平成22年7月3日．

平形明人：20Gの手術手技．第9回硝子体手術ビデオセミナー，東京，平成22年7月4日．

井上真：25Gの手術手技．第11回硝子体ビデオセミナー，東京，平成22年7月4日．

Ohno S, Okada AA, Goto H, Namba K, Kitaichi N: Infliximab therapy may greatly change ocular inflammation and visual prognosis in Behcet's disease. 14th International Conference on Behcet's Disease, London, Jul. 8-10, 2010.

渡邊交世，慶野博，井上真，吉野啓，岡田アナベルあやめ：結核性ぶどう膜炎の合併が疑われた眼内悪性リンパ種の1例．第44回日本眼炎症学会，東京，平成22年7月9-11日．

慶野博，佐藤康彦¹，首藤紘一²，岡田アナベルあやめ（¹杏林大・医学部・共同研究室RI部門，²乙卯研究所）：合成レチノイドAm80による実験自己免疫性ぶどう網膜網炎の軽症化．第44回日本眼炎症学会，東京，平成22年7月9-11日．

島千春¹，安積淳²，大黒伸行¹，岡田アナベルあやめ，蕪城俊克³，後藤浩⁴，園田康平⁵，南場研一⁶（¹大阪大，²神戸大，³東京大，⁴東京医大，⁵九州大，⁶北海道大）：急性網膜壊死の視力予後に関する因子．第44回日本眼炎症学会，東京，平成22年7月9-11日．

大田妙子¹，藤木俊寛¹，山田恵子¹，小西道雄¹，井尻茂之²，林篤志³，岡田アナベルあやめ，大黒伸行⁴（¹市立砺波病院，²金沢大，³富山大，⁴大阪大）：インフリキシマブが奏功した14歳発症の難治性多巣網脈絡網炎の1例．第44回日本眼炎症学会．東京，平成22年7月9-11日．

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題．第13回川崎市眼疾患研究会，川崎，平成22年7月17日．

平岡智之：網膜硝子体．都内大学眼科レジデント講習会，東京，平成22年7月18日．

永本敏之：調節性IOLの展望（特別講演）．2010年北海道大学眼科リサーチカンファレン

ス, 札幌, 平成 22 年 7 月 20 日.

永本敏之: 水晶体疾患の診断. 平成 22 年度東京都眼科医会卒後研修会, 東京, 平成 22 年 7 月 24 日.

平形明人: 糖尿病網膜症の治療の現状と課題. 函館サーフ&ターフシンポジウム, 函館, 平成 22 年 7 月 31 日.

山添克弥, 田聖花, 堀田一樹, 島崎潤: 角膜内皮移植後に移植片由来真菌性角膜炎を発症した 1 例, 第 1 回コルネアの鉄人, 東京, 平成 22 年 8 月 2 日.

井上真: シリコンオイルへの液体パーフルオロカーボンの眼内乳化第 12 回 Japan Macula Club, 蒲郡, 平成 22 年 8 月 22 日.

平形明人: 乳頭部先天異常に伴う網膜剥離治療. 第 1 回秋田網膜硝子体研究会, 秋田, 平成 22 年 9 月 4 日.

井上真: 術後視機能の更なる向上を目指した小切開硝子体手術~MIVS と付加価値 IOL~第 66 回仙台手術研究会, 仙台, 平成 22 年 9 月 4 日.

Takayo Watanabe, Yuko Ninomiya Atsuo Nakano Izumi Namiki Toshiyuki Nagamoto: Cataract surgery in patients with uveal coloboma. 2005 Annual Meeting of The European Society of Cataract & Refractive Surgeons, Paris, Sep. 4-8, 2010.

Yamazoe K, Den S, Tanaka Y, Shimazaki J, Hotta K. Donor-related candida keratitis after descemet stripping automated endothelial keratoplasty, 6th International Conference on the Tear Film and Ocular Surface, Florence, Italy, Sep. 22-25, 2010.

平形明人: 難治性網膜硝子体疾患に対する硝子体手術. 第 12 回北海道黄斑疾患研究会, 札幌, 平成 22 年 9 月 25 日.

井上真: 38G 網膜下注入針を用いた網膜下血腫移動. 第 5 回 Tokyo Retina Club, 東京, 平成 22 年 9 月 25 日.

吉野啓（若葉眼科病院）：眼内レンズ毛様溝縫着術後に完全瞳孔捕獲から iris bombé を来たした 1 例．第 21 回日本緑内障学会，福岡，平成 22 年 9 月 24-26 日．

新井千賀子，尾形真樹，田中恵津子，斉藤治子，小田浩一，平形明人：ロービジョンの患者の Quality of life に影響する要因(1)．第 19 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会，名古屋，平成 22 年 9 月 25-26 日．

斉藤治子，新井千賀子，尾形真樹，田中恵津子，小田浩一，平形明人：ロービジョンの患者の Quality of life に影響する要因(2)，第 19 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会，名古屋，平成 22 年 9 月 25-26 日．

平形明人：高齢者の目の病気．三鷹市老人クラブ連合会，三鷹，平成 22 年 10 月 1 日．

中山京子，平形明人，富田香¹，平岡智之，井上真（¹平和眼科）：高山網膜症の一例．第 53 回東京多摩地区眼科集談会，三鷹，平成 22 年 10 月 2 日．

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題．第 3 回 Osaka Ophthalmology Forum，大阪，平成 22 年 10 月 9 日．

Okada AA for the Behcet' s Disease Research Group of Japan. Late Breaking News: Results of a multicenter study of infliximab therapy for Behcet' s disease. Uveitis Subspecialty Day, Annual Meeting of the American Academy of Ophthalmology, Chicago, 2010. 10. 16.

Ito Y, Inoue M, Kunita D, Hirota K, Sugitani A, Hiraoka T, Hirakata A: Correlation of cone outer segment structure with visual recovery after macular hole surgery. American Academy of Ophthalmology, Chicago, 2010. 10. 16-19.

平岡智之，平形明人：マイラゲルの長期合併症．第 1 2 回西東京眼科フォーラム，三鷹，平成 22 年 10 月 20 日．

今野公士:当科における高 IgG4 血症を呈した眼窩涙腺炎の臨床的検討, 第 4 回西東京眼科フォーラム, 三鷹, 平成 22 年 10 月 20 日.

中山真紀子, 慶野博, 渡辺交世, 渡邊望, 井上真, 平形明人, 岡田アナベルあやめ: Vogt-小柳-原田 (VKH) 病におけるステロイド治療前後の脈絡膜厚の評価. 西東京フォーラム, 三鷹, 平成 22 年 10 月 20 日.

永本敏之: ここまで来た先天白内障治療 (特別講演). 第 16 回大阪眼科手術シンポジウム, 大阪, 平成 22 年 10 月 23 日.

新井千賀子: 乳幼児と重複障害児・者の遮光眼鏡の処方. 第 11 回日本ロービジョン学会学術総会, 岡山. 平成 22 年 10 月 22-24 日.

気賀沢一輝: ロービジョンケアに役立つ精神ケアの基礎知識. 第 11 回日本ロービジョン学会学術総会, 岡山, 平成 22 年 10 月 22-24 日.

井上真: 術後視機能の更なる向上へ「白内障+硝子体同時手術」010 テレフォンカンファレンスシリーズ~より良い見え方をもたらす最近の IOL の選択. 東京, 平成 22 年 10 月 28 日.

Hirakata A: Utility of optical coherence tomography and fundus autofluorescence findings in the management of optic disc pit maculopathy. 27th Meeting of the Jules Gonin, Kyoto, 2010. 11. 3-6

伊東裕二, 井上真, 國田大輔, 村井秀樹, 廣田和成, 杉谷篤彦, 平岡智之, 平形明人: 黄斑円孔術後における網膜外層の形態と視力との関係について. 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

利井東昇, 井上真, 平形明人: 小児発症の乳頭小窩黄斑症候群の特徴. 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

今野公士, 平形明人, 城下哲夫, 沖坂重邦¹, 藤野節², 寺戸雄一², 藤岡保範² (¹眼病理教育研究所, ²杏林大 病理): 涙嚢部基底細胞癌と疑われた涙嚢悪性黒色腫の 1 例. 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

永本敏之：若年者の外傷性白内障手術のポイント（シンポジウム「若年者の白内障・IOL手術のポイント」）．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

永本敏之：iSert Micro 251 と創口負荷・自己閉鎖（ランチョンセミナー）．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

永本敏之：外傷性白内障（インストラクションコース「難症例の白内障手術」）．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

二宮夕子，中野敦雄，渡辺交世，並木泉，永本敏之：NS5 度症例における縦発振 US と Torsional 発振の比較．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

中野敦雄，二宮夕子，渡辺交世，並木泉，永本敏之：各種眼内レンズ挿入後の2.4mm 強角膜切開創の自己閉鎖性について．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

山本亜希子，岡田アナベルあやめ，杉谷篤彦，國田大輔，伊東裕二：滲出型加齢黄斑変性に対するranibizumab硝子体内投与の治療成績．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

城下哲夫，山本亜希子，杉谷篤彦，國田大輔，伊東裕二，岡田アナベルあやめ：難治性滲出型加齢黄斑変性に対するranibizumab併用PDT療法の治療成績．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

慶野博，渡邊交世，瀧和歌子，伊東真知子，岡田アナベルあやめ：ベーチェット病網膜ぶどう膜炎に対するインフリキシマブ長期投与の有効性．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

中山真紀子，慶野博，渡邊交世，井上真，平形明人，岡田アナベルあやめ：Vogt-Koyanagi-Harada (VKH) 病における脈絡網厚の経時的評価．第64回日本臨床眼科学会，神戸，平成22年11月11-14日．

慶野博, Ralph Levinson¹, Raja Rajalingam¹, 岡田アナベルあやめ (¹ David Geffen School of Medicine at UCLA, University of California at Los Angeles, Los Angeles, California 90024, USA.): Vogt-小柳-原田病と KIR 遺伝子多型. 第 114 回日本眼科学会総会 学術展示 優秀賞 受賞講演, 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

江内田寛, 大島祐介, 木村英也, 井上真, 吉田宗徳, 山地英孝, 門之園一明, 大路正人, 白神史雄: 硝子体手術の周術期における抗血栓薬の取り扱いに関する調査. 第 64 回日本臨床眼科学会総会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11 日.

根岸一乃, 大沼一彦, 野田徹, 三橋俊文, 井上真: インストラクションコース「臨床に役立つ眼光学」特殊眼内レンズ挿入眼の硝子体手術. 第 64 回日本臨床眼科学会総会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11 日.

井上真: レチナナイトメア-合併症の悪夢-. 世にも不思議な液体. 第 64 回日本臨床眼科学会総会, 神戸, 平成 22 年 11 月 13 日.

井上真: 検証!! 眼内レンズマテリアルの重要性について. 網膜硝子体手術における眼内レンズの選択. 第 64 回日本臨床眼科学会総会, 神戸, 平成 22 年 11 月 13 日.

気賀沢一輝: 心療眼科の立場から、神経質な患者への対応. 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

山添克弥, 山口剛史, 田聖花, 島崎潤, 堀田一樹: 角膜内皮細胞減少例に対する白内障手術, 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸市, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

横田怜二, 小山隆文, 末永孝生, 星和栄, 山添克弥, 井上亮, 鎗田理沙, 江本宜暢, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: CNS 悪性リンパ腫眼局所再発の確定診断に網膜下生検が有用であった 1 例, 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸市, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

江本宜暢, 山添克弥, 井上亮, 横田怜二, 鎗田理沙, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: 電気生理学的に正常だが HD-OCT で白点状眼底様所見を呈する 1 例, 第 64 回日本臨床眼科学会, 神戸

市, 平成 22 年 11 月 11-14 日.

横川直人, 杉井章二, 小田井剛, 加藤雪彦, 田中裕一郎, 鶴岡一英, 田中伸茂, 岡田アナベルあやめ, 稲田進一: 当院における未承認薬ヒドロキシクロロキンの服薬指導の経験. 第25回日本臨床リウマチ学会, 東京, 平成22年11月27-28日.

大野京子, 井上真, 前田直之, 井上智之: 網膜 2010 で頭の体操-専門バカになるな-Part4. 網膜 2010, 大阪, 平成 22 年 11 月 26-28 日.

井上真: “値千金 “網膜硝子体手術ここがポイント! ぶどう膜炎編. 網膜 2010 モーニングセミナー, 大阪, 平成 22 年 11 月 26-28 日.

井上真: MIVS 教育セミナー 小切開硝子体手術の現状. MIVS のための必須アイテム. 照明系, 広角観察システムを含めた観察系のサマリー. 網膜 2010, 大阪, 平成 22 年 11 月 26-28 日.

中山真紀子, 新井千賀子, 田中伸茂: 陰性型 ERG を呈する片眼性錐体杆体ジストロフィと考えられた一例. 第 49 回日本網膜硝子体学会, 大阪, 平成 22 年 11 月 26 日-28 日.

平形明人: OCT の見方~症例報告編~. 第 2 回多摩眼科中央 OCT meeting, 立川, 平成 22 年 12 月 8 日.

平形明人: 眼底画像診断と硝子体手術の進歩 update. 第 38 回筑波 TOC・第 4 回茨城県眼科医会フォーラム, つくば, 平成 23 年 1 月 15 日.

永本敏之: 白内障. 第 6 回医療機器市民フォーラム, 東京, 平成 23 年 1 月 15 日.

Okada AA: New methods for assessing inflammation in uveitis. Immunology /Inflammation /Microbiology Symposium, Asia ARVO, Singapore, 2011.1.21.

井上真: 硝子体手術中の視体験の再現. 第 8 回信濃町網膜研究会, 東京, 平成 23 年 1 月 21 日.

平形明人：糖尿病網膜症の治療の現状と課題．武蔵野市医師会学術講演会，武蔵野市，平成 23 年 1 月 26 日．

中山京子，今野公士，松崎淳，平形明人：バンコマイシン眼軟膏 1%®使用後に涙嚢摘出術を追加施行した急性 MRSA 涙嚢炎の 1 例．第 34 回日本眼科手術学会，京都，平成 23 年 1 月 28 - 30 日．

平形明人：合併症の対策と処理．第 34 回日本眼科手術学会，京都，平成 23 年 1 月 28 - 30 日．

今野公士，忍足和浩¹，五月女典之，辻比呂志²，大西克尚²，平形明人（¹忍足眼科医院，²放射線医学総合研究所重粒子医学センター病院）：低分化な涙腺腺様嚢胞癌に眉毛下摘出術および重粒子線療法を併用した 1 例．第 34 回日本眼科手術学会，京都，平成 23 年 1 月 28 - 30 日．

永本敏之：浅前房，IMS（教育セミナー「難症例に対する白内障手術」）．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

中野敦雄，二宮夕子，渡辺交世，並木泉，永本敏之：Ozil IP と custom pulse による手術効率の比較．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

渡辺交世，二宮夕子，中野敦雄，並木泉，永本敏之：小眼球における白内障手術．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

二宮夕子，中野敦雄，渡辺交世，永本敏之：小児の外傷性白内障の手術成績．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

井上真：第 1 入門させていただきます！困った出血どうしましょう？硝子体道場．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

伊東裕二，井上真，村井秀樹，平岡智之，平形明人：膨化 MIRA ゲル®が眼内に intrusion した 1 例．第 34 回日本眼科手術学会総会，京都，平成 23 年 1 月 28-30 日．

井上真：黄斑手術の基本手技「後部硝子体剥離の基本手技」。第34回日本眼科手術学会総会，京都，平成23年1月28-30日。

井上真：眼科医のための多焦点眼内レンズ・セカンドオピニオン外来パート2。Abbott イブニングセミナー。第34回日本眼科手術学会総会，京都，平成23年1月28-30日。

城下哲夫，柴田朋宏，平形明人，井上真：裂孔原性網膜剥離を合併した Peters 奇形の一例。第34回日本眼科手術学会総会，京都，平成23年1月28-30日。

平岡智之（スキルトランスファー）：硝子体。第34回日本眼科手術学会総会，京都，平成23年1月28-30日。

平岡智之（インストラクションコース）：硝子体手術。第34回日本眼科手術学会総会，京都，平成23年1月28-30日。

山添克弥，田聖花，島崎潤，堀田一樹：翼状片術後に発症した Surgically induced necrotizing scleritis の1例，第34回日本眼科手術学会，京都市，平成23年1月28-30日。

横田怜二，横山明子，横山恭典，堀田順子，堀田一樹：上頑臉皮膚直下まで脱出し皮膚切開からの除去を要した膨化マイラゲルの1例，第34回日本眼科手術学会，京都市，平成23年1月28-30日。

平形明人：結節硬化症に合併した網膜剥離併発網膜星状膠細胞腫の一例。硝子体手術フォーラム，ルスツ，平成23年2月4-5日。

平形明人：知っておきたい眼底疾患。第11回とやま眼科学術講演会，富山市，平成23年2月5日。

井上真：トーリック IOL での眼底観察。硝子体 Winter forum，北海道，平成23年2月3-5日，ルスツ。

永本敏之：白内障。第6回医療機器市民フォーラム，名古屋，平成23年2月5日。

井上真：施設紹介&症例検討．第1回網膜硝子体手術研究会，東京，平成23年2月17日．

山添克弥，田聖花，堀田一樹，島崎潤：全層角膜移植後拒絶反応の予後，第35回角膜カンファランス・第27回日本角膜移植学会，東京，平成23年2月17日．

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状．西多摩医師会学術講演会，あきる野市，平成23年2月21日．

吉野啓：緑内障手術と薬剤．千寿製薬社内研修会，日本橋，平成23年2月21日．

井上真：「人間ドックで診る眼科疾患（眼底検査を中心に）」講習衛生検査研究班研修会，東京，平成23年2月24日．

Arai C, Ogata M, Tanaka E, Saito H, Oda K, Hirakata A: Factors which influence QOL of Patients with low vision (1), 10th International Conference on Low vision, Kuala Lumpur, Malaysia, Feb. 20-24, 2011.

Saito H, Arai C, Ogata M, Tanaka E, Oda K, Hirakata A: Factors which influence QOL of Patients with low vision (2), 10th International Conference on Low vision, Kuala Lumpur, Malaysia, Feb. 20-24, 2011.

平形明人：糖尿病後眼部合併症．東京都眼科医会平成22年度卒後研修会第11回，東京，平成23年2月26日．

岡田アナベルあやめ：眼炎症疾患：最近のトピックより．第83回鳥取大学眼科研究会，米子，平成23年2月26日．

平形明人：知っておきたい眼底疾患．第35回湘西眼科臨床フォーラム，相模大野，平成23年3月3日．

平形明人：OCTの見方～症例報告編～．第2回小平OCT meeting，東京，平成23年3月5日．

永本敏之：調節性 IOL の展望（特別講演）．第 5 回東北眼科フォーラム，仙台，平成 23 年 3 月 5 日．

山添克弥，田聖花，堀田一樹，島崎潤：角膜移植後拒絶反応の予後因子の検討，第 256 回千葉眼科集談会，千葉市，平成 23 年 3 月 13 日．

Yamamoto-Ogasawara A, Inoue M, Hiraoka T, Bissen-Miyajima H, Hirakata A: Intraoperative view of vitreous surgery for the eyes implanted with diffractive multifocal intraocular lenses. APAO meeting, Sydney, Mar20-24, 2011.

Inoue M, Noda T, Ohnuma K, Bissen-Miyajima H, Hirakata A: Quality of image of grating target placed in model eye observed through toric intraocular lens. APAO meeting, Sydney, Mar20-24, 2011.

Nakayama M, Yamamoto-Ogasawara A, Inoue M, Hiraoka T, Hirakata A: Vitreous surgery combined with cataract surgery implanted with a toric intraocular lens. APAO meeting, Sydney, Mar20-24, 2011.

II 論文（症例報告，総説 含む）

井上真，五月女典久，平岡智之，三木大二郎，平形明人：乳頭小窩を伴わない網膜分離症への硝子体手術．日眼会誌 113：230，2009．

Inoue M, Shinoda K, Hirakata A: Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitrectomy Blade Trocar. Br J Ophthalmol 94:498-502, 2010.

Hirakata A, Inoue M, Oshitari K¹, Okada AA, Nagamoto T, Tano Y²(¹Oshitari Ganka, ²Department of Ophthalmology, Osaka University): Histopathological examination of internal limiting membrane surface after scraping with diamond-dusted membrane scraper. Acta Ophthalmol 88:e293-4, 2010.

宮澤顕子，井上真，平形明人：黄斑円孔の外来硝子体手術．眼科 52：433-436, 2010.

新井千賀子, 山中幸宏¹, 気賀澤一輝, 尾形真樹, 吉野啓, 小田浩一², 平形明人 (朝倉メガネ,²東京女子大学): 無虹彩, 無水晶体眼の視覚補助具の検討—線維柱帯切除術後に虹彩付きコンタクトレンズの使用が困難と予測された症例—. 眼臨紀 3: 455-460, 2010.

Kakinoki M, Hirakata A, Landers MB3rd, Ohji M: The new lens holder for Peyman-Wessels-Landers 132D upright vitrectomy lens. *Retina* 30:1316-1317, 2010.

Miyazawa A, Inoue M, Yamada S, Hirota K, Sano RY, Nishiyama K, Hirakata A: Higher incidence of carotid stenosis in patients with central retinal artery occlusion. *Acta Ophthalmol* 2010 (Epub ahead of print)

Hiraoka T, Inoue M, Ninomiya Y, Hirakata A: Infrared and fundus autofluorescence imaging in eyes with optic disc pit maculopathy. *Clin Exp Ophthalmol* 38:669-677, 2010.

渡辺交世, 三木大二郎, 岡田アナベルあやめ, 平形明人: 急性網膜壊死の治療成績の検討. 日眼会誌 115: 7-12, 2011.

鈴木由美, 山田昌和¹, 井之川宗右, 浜由起子, 富田香², 平形明人 (国立病院機構東京医療センター眼科,²平和眼科): 陳旧性外傷性下直筋断裂に下直筋縫合が有効であった 1 例. 眼臨紀 4: 254-258, 2011.

Yonekawa Y¹, Hirakata A, Inoue M, Okada AA (Department of Ophthalmology, Weill Cornell Medical College and): Spontaneous closure of a recurrent myopic macular hole previously repaired by pars plana vitrectomy. *Acta Ophthalmol* [Epub ahead of print] 2010.

Inoue M, Ota I¹, Taniuchi S, Nagamoto T, Miyake K¹, Hirakata A (Miyake Eye Hospital): Miyake-Apple view of inner side of sclerotomy during microincision vitrectomy surgery. *Acta Ophthalmol* [Epub ahead of print] 2011.

Inoue M, Noda T¹, Mihashi T², Ohnuma³, Bissen-Miyajima H⁴, Hirakata A (Department of Ophthalmology, National Hospital Organization Tokyo Medical Center, ²Research Institute, Optics Lab, Topcon Corporation, ³Department of Medical System Engineering,

Faculty of Engineering, Chiba Univ, ⁴Department of Ophthalmology, Tokyo Dental College Suidobashi Hospital):Quality of image of grating target placed in model of human eye with corneal aberrations as observed through multifocal intraocular lenses. *Am J Ophthalmol* 151:644-652. e1. [Epub ahead of print]2011.

永本敏之: 嚢内固定された眼内レンズの摘出(総説). *臨床眼科* 64(11, 増刊号):148 - 149, 2010.

永本敏之: 術中トラブル時の嚢内固定と嚢外固定(総説). *臨床眼科* 64(11, 増刊号):216 - 220, 2010.

永本敏之: 白内障手術機器の進歩 1) アルコン社(総説). *臨床眼科* 64(11, 増刊号):256 - 263, 2010.

Okada AA: The dream of biologics in uveitis. [Editorial] *Arch Ophthalmol* 128:632-635, 2010.

de Smet MD, Okada AA: Cystoid macular edema in uveitis. *Dev Ophthalmol* 47:136-47, 2010.

Keino H, Watanabe T, Sato Y, Okada AA: Anti-inflammatory effect of retinoic acid on experimental autoimmune uveoretinitis. *Br J Ophthalmol* 94:802-807, 2010.

Tano Y, Ohji M on behalf of the EXTEND-I Study Group (including Okada AA): EXTEND-I: safety and efficacy of ranibizumab in Japanese patients with subfoveal choroidal neovascularization secondary to age-related macular degeneration. *Acta Ophthalmologica* 88:309-16, 2010.

Hirakata A, Inoue M, Oshitari K, Okada AA, Nagamoto T, Hida T: Histopathological examination of internal limiting membrane surface after scraping with diamond-dusted membrane scraper. *Acta Ophthalmologica* 88:e293-294, 2010.

Keino H, Watanabe T, Taki W, Nakashima C, Okada AA: Clinical features and visual outcomes of Japanese patients with scleritis. *Br J Ophthalmol* 94:1459-63, 2010.

Taki W, Keino H, Watanabe T, Nakashima C, Okada AA: Interferon-gamma release assay in tuberculous scleritis. *Arch Ophthalmol* 129:368-371, 2011.

Nakashima C, Keino H, Watanabe T, Taki W, Okada AA: Intravitreal bevacizumab for iris metastasis of small cell lung carcinoma and neovascular glaucoma. *Jpn J Ophthalmol* 55:80-81, 2011.

渡邊交世, 三木大二郎, 岡田アナベルあやめ, 平形明人: 急性網膜壊死の治療成績の検討. *日本眼科学会雑誌* 115:7-12, 2011.

Keino H, Watanabe T, Sato Y, Okada AA: Oral administration of retinoic acid receptor- α/β -specific ligand, Am80 suppresses experimental autoimmune uveoretinitis. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 52:1548-1556, 2010.

Yonekawa Y, Hirakata A, Inoue M, Okada AA: Spontaneous closure of a recurrent myopic macular hole previously repaired by pars plana vitrectomy. *Acta Ophthalmologica* 2010 Sep 14. [Epub ahead of print].

Keino H, Okada AA, Watanabe T, Taki W, Nakashima C: Decreased ocular inflammatory attacks and background retinal and disc vascular leakage in patients with Behcet's disease on infliximab therapy. *Br J Ophthalmol* 2010 Dec 22 [Epub ahead of print].

Inoue M, Sinoda K, Hirakata A: Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitrectomy Blade Trocar. *Br J Ophthalmol* 94(4):498-502, 2010.

Yoshino M, Inoue M, Kitamura N, Bissen-Miyajima H. Diffractive Multifocal Intraocular Lens Interferes Intraoperative View. *Clinical Ophthalmol* 14;4:467-9, 2010.

Yuki K, Inoue M, Shiba D, Kawamura R, Ishida S, Ohtake Y. Selective Laser Trabeculoplasty for Elevated Intraocular Pressure following Subtenon Injection of

Triamcinolone Acetonide. *Clin Ophthalmol* 26;4:247-9, 2010.

Hiraoka T, Inoue M, Ninomiya Y, M Hirakata A. Infrared and Fundus Autofluorescence Imaging in Eyes with Optic Pit Maculopathy. *Clin Experiment Ophthalmol* 38(7):669-77, 2010

Oshima Y, Kadonosono K, Yamaji H, Inoue M, Yoshida M, Kimura H, Ohji M, Shiraga F, Hamasaki T (The Japan MIVS study group): Multicenter Survey with a Systematic Overview of Acute-Onset Endophthalmitis after Transconjunctival Microincision Vitrectomy Surgery. *Am J Ophthalmol* 150(5):716-725, 2010.

Inoue M, Shinoda K, Matsuda-Yamamitsu T, Sano RY, Ishida S: Combined Vitreous and Cataract Surgeries in Highly Hyperopic Eye. *Clin Ophthalmol* 7;4:1003-5, 2010.

Kawashima M, Kawashima S, Dogru M, Inoue M, Shimazaki J: Endoscopy-guided vitreoretinal surgery following penetrating corneal injury: a case report. *Clin Ophthalmol* 19;4:895-8, 2010.

Hirakata A, Inoue M, Oshitari K, Okada AA, Nagamoto T, Tano Y. Histopathological Examination of Internal Limiting Membrane Surface after Scraping with Diamond-Dusted Membrane Scraper. *Acta Ophthalmologica* 88(7):e293-4, 2010.

Yonekawa Y, Hirakata A, Inoue M, Okada AA: Spontaneous Closure of a Recurrent Myopic Macular Hole Previously Repaired by Pars Plana Vitrectomy. *Acta Ophthalmol* , 2010. [Epub ahead of print]

Miyazawa A, Inoue M, Yamada S, Hirota K, Sano RY, Nishiyama K, Hirakata A. Higher Incidence of Carotid Stenosis in Patients with Central Retinal Artery Occlusion. *Acta Ophthalmologica* , 2010. [Epub ahead of print]

Inoue M, Ota I, Taniuchi S, Nagamoto T, Miyake K, Hirakata A. Miyake-Apple view of inner side of sclerotomy during microincision vitrectomy surgery. *Acta Ophthalmol* , 2010. [Epub ahead of print]

Noda M, Noda K, Ideta S, Nakamura Y, Ishida S, Inoue M, Tsubota K. Repair of blowout orbital floor fracture by periosteal suturing. Clin Experiment Ophthalmol, 2010. [Epub ahead of print]

細田進悟, 川村亮介, 鈴木浩太郎, 篠田肇, 今村裕, 小沢洋子, 石田晋, 井上真 : 特発性黄斑円孔に対する 25 ゲージ経結膜硝子体手術での術後視野欠損. 眼科臨床紀要 3(5):1882-5176, 2010.

宮澤颯子, 井上真, 平形明人 : 黄斑円孔の外来硝子体手術. 眼科 52(4):433-436, 2010.

Sugita S, Horie S, Yamada Y, Keino H, Usui Y, Takeuchi M & Mochizuki M Suppression of bystander T helper 1 cells by iris pigment epithelium-inducing regulatory T cells via negative costimulatory signals. Invest Ophthalmol Vis Sci 51: 2529-2536, 2010.

Levinson RD, Okada AA, Ashouri E, Keino H & Rajalingam R. Killer cell immunoglobulin-like receptor gene-cluster 3DS1-2DL5-2DS1-2DS5 predisposes susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada syndrome in Japanese individuals." Hum Immunol 71: 192-194, 2010.

Keino H, Usui Y, Oh-I K, Usui M & Goto H. Correlation between cerebrospinal fluid cell count and cerebrospinal fluid level of chemokine, monokine induced by interferon-gamma in Vogt-Koyanagi-Harada disease." Acta Ophthalmol 88: e30-31, 2010.

慶野博, 岡田アナベルあやめ : ベーチェット病におけるぶどう膜網膜炎の活動性の評価法. リウマチ科 43:620-628, 2010.

慶野博 : 強膜炎の薬物療法. 眼科 金原出版 52: 1167-1176, 2010.

慶野博 : 平成 21 年度日本眼科学会学術奨励賞 受賞論文総説. 低分子 NF-k B 阻害剤を用いた実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎の抑制機構, 日本眼科学会雑誌 114:994-954, 2010.

伊東裕二, 國田大輔, 杉谷篤彦, 平岡智之, 井上真, 三木大二郎, 平形明人 : 黄斑円孔網膜剥離に対する硝子体手術後の円孔閉鎖について. 日眼会誌 114 : 286, 2010.

今野公士, 山田英明, 藤原祐丈, 北澤世志博: Bioptics: Phakic IOL 施行後の追加 LASIK の検討. 眼科手術 (3)447-451, 2010

山本亜希子, 岡田アナベルあやめ: 硝子体注射後の眼内炎. 眼科手術 23巻2号228-230, 2010.

井上亮, 江本宜暢, 堀田順子, 堀田一樹: 巨大視神経乳頭と裂孔原性網膜剥離を伴った Noonan 症候群の一例. 眼科手術 23: 291-295, 2010.

横田怜二, 堀田一樹: 嚢内固定された水晶体・硝子体同時手術後の計画的眼内レンズ二次挿入眼の術後屈折誤差. IOL & RS24: 292-297, 2010.

鎗田理沙, 堀田一樹: うっ血乳頭に著明な乳頭周囲出血を伴った脳室腹腔シャント不全の一例. 眼臨紀 3: 552-555, 2010.

横田怜二, 堀田一樹: 水痘・帯状疱疹ウイルスの関与が疑われた網膜色素上皮炎の 1 例. 臨眼 64: 1729-1733, 2010.

III 著書

平形明人: 剥離した内境界膜は再生するのか. 根木昭 (編): 眼のサイエンス 眼疾患の謎, p168-169, 文光堂, 東京, 2010.

廣田和成, 平形明人: 格子状変性巣内の裂孔による扁平な網膜剥離の治療. 門之園一明 (編): 新 ES NOW(4) 網膜剥離こうすれば治る, p52-57, メジカルビュー, 東京, 2010.

平岡智之, 平形明人: 硝子体手術. 江口秀一郎 (編): 新 ES NOW(5) 眼科手術のロジック こう考えれば手術は上達する, p104-113, メジカルビュー, 東京, 2011.

平形明人: 糖尿病網膜症の治療最前線. ホスト 渥美義仁 (東京都済生会糖尿病臨床研究センター). DITN No. 388 p2-3. 東京, メディカルジャーナル, 2010.

平形明人：糖尿病網膜症から失明を予防するために．港区医師会報 122：77-78, 2010.

平形明人：総説 43 視神経乳頭の先天異常に伴う網膜剥離. 日眼会誌 日本眼科学会専門医制度生涯教育講座 114：643-656, 2010.

永本敏之：白内障手術のロジック．眼科手術のロジック．山本哲也，江口秀一郎，ビッセン宮島弘子，門之園一明編．東京，メジカルビュー社，2010. P86-91.

慶野博，岡田アナベルあやめ：【リウマチ・膠原病診療における評価】ベーチェット病におけるぶどう網膜網炎の活動性の評価法．リウマチ科 43:620-628, 2010.

岡田アナベルあやめ：生物学的製剤とは？．日本の眼科 81:150-154, 2010.

岡田アナベルあやめ：眼が眩しい．あたらしい眼科 27:573, 2010.

De Smet MD, Okada AA: Cystoid macular edema in uveitis. Dev Ophthalmol 47:1-12, 2010.

岡田アナベルあやめ：【全身疾患と眼】感染症と眼．日本医師会雑誌 139:1647-1651, 2010.

井上真：バックリングにおけるガスタンポナーデ．Fish mouth と対策．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス 30 巻．文光堂, 2010. p137.

井上真：ガス注入法と追加ガスタンポナーデ．バックル手術．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス 30 巻．文光堂, 2010. p138.

井上真：ガス注入法と追加ガスタンポナーデ．硝子体手術．理に適った網膜剥離手術．眼科プラクティス 30 巻．文光堂, 2010. p205

井上真：インフォームドコンセントの考え方．第 2 章 教えてくれない医事の常識．新眼科レジデント戦略ガイド．診断と治療社, 2010. p192-197.

井上真：「網膜剥離 小切開硝子体手術による治療について」．新 ES-NOW 4 網膜剥離 こうすれば直る 復位率 100%をめざして．メジカルビュー社, 2010. p146-150.

井上真：パーフルオロカーボンと硝子体手術の応用. 特集「水晶体・眼内レンズの亜脱臼と核落下」. 2010. 眼科 51(11):1505-1513.

井上真：硝子体充填物質（シリコンオイル, ヘビーシリコンオイル, パーフルオロカーボン, SF6, C3F8）. 眼科. 2010. 52(8):1025-1031.

井上真：多焦点眼内レンズと眼底視認性. 眼科手術 23(4):502-506, 2010.

井上真：多焦点眼内レンズ挿入眼の網膜硝子体検査. 多焦点眼内レンズセミナー. あたらしい眼科. 2010. 27(12)1687-1688.

井上真：術後眼内炎. あたらしい眼科. 2011. 28(3):343-349.

Inoue M, Hirakata A: Spectral-domain optical coherence tomography in gas-filled eyes. Retina Today. 2010. p56-58.

鈴木由美: こどもの屈折異常 新ナースのための眼科学. 大橋裕一・山田昌和編集. 東京, メジカルビュー社, 2011. p196-197.

鈴木由美: 心因性視力障害 新ナースのための眼科学. 大橋裕一・山田昌和編集. 東京, メジカルビュー社, 2011. p198-199.

鈴木由美: 眼球運動障害 新ナースのための眼科学. 大橋裕一・山田昌和編集. 東京, メジカルビュー社, 2011. p200-201.

IV. その他（報告書, 学会主催, 特許, 受賞等, 知的財産関係を含む）

慶野博：文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 B（平成 21 年度-平成 22 年度）
レチノイン酸を用いた自己免疫性眼炎症疾患の抑制の試み.

堀田一樹：bayFM radio surprise Medical Updates（第77回）. 未熟児網膜症. バイエフエム. 平成22年12月7日.

堀田一樹：bayFM radio surprise Medical Updates（第78回）. 白内障. バイエフエム. 平成22年12月14日.

堀田一樹：bayFM radio surprise Medical Updates（第79回）. 緑内障. バイエフエム. 平成22年12月21日.

堀田一樹：bayFM radio surprise Medical Updates（第80回）. 加齢黄斑変性症. バイエフエム. 平成22年12月28日.